

授業科目名	総合演習	担当教員	大社 充 古賀 弥生 直井 岳人 今井 祐子 塩川 太郎 児玉 北斗 荒木 利雄 杉山 至 小熊 英国 大野 はな恵 西崎 伸子 藤本 悠 坂本 ひとみ 尾西 教彰 小畠 克典 木田 真理子 千賀 喜史 瓶内 栄作 傅 建良 高橋 伸佳	
必修の区分	必修			
単位数	4 単位			
授業の方法	演習			
開講年次	4年 第1・3 クオーター			
講義内容	<p>4年間の集大成として、地域の諸課題を複眼的な分析を通じて発見し、芸術文化及び観光を生かした新たな価値創造や地域の活性化につながる方策を考える能力の修得を目指す。</p> <p>具体的には演習を通じて、諸課題の抽出・課題解決策の検討・発表・成果のとりまとめを行うため、専任教員による共同指導を原則とし、助言・指導・評価を行う。</p> <p>分野の異なる複数の教員が主指導と副指導を担当することにより、研究テーマの芸術文化分野と観光・経営分野との連携を確保する。</p> <p>また、年間を通じて3回のプレゼンテーション（構想発表会、中間発表会、成果発表会）を公開で実施する。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化と観光を生かし、地域活性化につながる方策を考えることができる。 ・実現可能性と継続性、新たな価値創造を経済的便益につなげる視点を踏まえた事業計画を作成することができる。 			
授業計画	<p>第1 クオーター</p> <p>1回 オリエンテーション 2回 研究課題の選定① 3回 研究課題の選定② 4回 研究課題の情報収集① 5回 研究課題の情報収集② 6回 研究課題の理論構築① 7回 研究課題の理論構築② 8回 フィールドワーク調査方法の検討① 9回 フィールドワーク調査方法の検討② 10回 研究課題の構想発表① 11回 研究課題の構想発表② 12回 ステークホルダーからのヒアリング</p> <p>第3 クオーター</p> <p>1回 フィールドワークによる解析① 2回 フィールドワークによる解析② 3回 研究結果の中間取りまとめ① 4回 研究結果の中間取りまとめ② 5回 研究課題の中間発表① 6回 研究課題の中間発表②</p>			

	7回 研究成果のレフレクション① 8回 研究成果のレフレクション② 9回 研究成果のフィードバック（社会還元と政策提言）① 10回 研究成果のフィードバック（社会還元と政策提言）② 11回 研究課題の成果発表① 12回 研究課題の成果発表②
事前・事後 学習	あらかじめ担当教員が指示した資料を読み込み、疑問点や発言内容を整理しておくこと。
テキスト	事前に適宜指示する。
参考文献	事前に適宜指示する。
成績評価 の基 準	各ゼミの成績評価はゼミ紹介冊子を参照すること。
履修上の注意 履修要件	特になし。
実践的教育	該当しない。
備考欄	